

会 議 録

会議名 (付属機関等名)	川西市参画と協働のまちづくり推進会議 令和元年度第1回B部会		
事務局(担当課)	総合政策部 参画協働課		
開催日時	令和元年7月12日(金) 午後6時半から午後8時		
開催場所	川西市役所 地下1階 B02 会議室		
出席者	委員	田中晃代(部会長)、釜本孝彦、延命寺陽子、金剛丸朋子、相良雅江、田中真優、中村佳子、堀田大樹、山澤剛、吉尾豊	
	その他		
	事務局	総合政策部副部長、同課主任2名	
傍聴の可否	可	傍聴者数	0人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	<p style="margin-left: 20px;">1 開 会</p> <p style="margin-left: 20px;">2 議 事</p> <p style="margin-left: 40px;">(1) 今後の進め方等について</p> <p style="margin-left: 40px;">(2) B部会のテーマ</p> <p style="margin-left: 60px;">(仮)「(地域・市民活動に対して、)やる気や興味・関心が薄い方を巻き込んでいくには」</p> <p style="margin-left: 20px;">3 閉 会</p>		

18:30～

1 開 会

田中部会長進行。

2 議 事

(1) 部会の進め方について

○田中部会長

改めて推進会議・部会を設けることの目的や趣旨について説明を。

○事務局

(内容)

① 具体的な提言を行う材料とする。

最終的には、一定のガイドライン・報告書に類するものを作成。どのようにすればより多くの人に活動に関わってもらえるかについて、コミュニティ組織・自治会・NPO・ボランティアなど様々な主体に対して、提言を行う。

② 市の施策に反映する。

市民公益活動に関する効果的な広報や情報発信などを行う際に、ターゲット設定や発信内容などを考える際の材料とする。

(進め方)

- ・ 進行は部会長を中心として、各部会にお任せする。
- ・ 本日含めて、6回の部会で、自由に話し合ってください。
- ・ 全体会で各部会の内容を共有する。

(2) B 部会のテーマ

(仮)「(地域・市民活動に対して、)やる気や興味・関心が薄い方を巻き込んでいくには」

○田中部会長

部会名を検討。

(決定した名称)

とりあえずポップコーン～とりあえず活動を始めたならそのうち始まる～

(委員から出た意見)

- ・ 自分の好きなことの延長の市民活動は取組みやすい。
- ・ 興味ないもの・興味あるものをくみあわせる
 - ごみ拾い＋逃走中
- ・ 松尾台(猪名川町)の地域体育祭では、リレーに参加することでカレーの材料が集まるしくみで、とても盛況。
- ・ 体育祭で自治会対抗戦は盛りあがる(地域への愛着があるから)。オープン種目で大綱引きを行った。自治会員ではない方の参加をどのように促すか苦慮している。
- ・ 「何かをもらえるから」だけでは、1回の参加で終わる。
 - やるだけではなくエッセンスを
- ・ 学生同士の誘い方は、「とりあえず1回来てみて」(サークルのご飯タダ、就活に生かせる、成長できる)
 - 自分の引き出しが増える
- ・ 活動への絡み方・参加の仕方がわからない
 - 母親になって初めて、子育てやPTAなどわかりやすくなった。
- ・ 自治会のメリット、デメリット論争は良くない。メリットをもとめ一方的なサービス提供となると、「受け手」となり、参画を促すことはできない。趣旨をずらし、フランクに。追求しすぎてはだめ。
- ・ 自治会のBBQは無料だけど、交流になった(日頃見守りをして頂いている人の顔を知れるなど)
- ・ ～～しないといけないがあると入りたくても入れない。働いているのに、平日午前中の会議は厳しい。またごみステーションの管理も厳しい。できる範囲のことで関われないか、相互

の対話ができる環境が必要。

- ・ 組織ベースの活動は大切だが、あわせて「人と人のつきあい」での活動を。
- ・ 「参加する必要がない」と感じていて参加していない人を「参加する必要がある」と感じていて参加を促すのは比較的簡単(前述のごみ拾い+逃走中)。そこから、参画する側に持っていくのが何より難しい。

(2回目に向けて)

- ・ 委員が発表した参画・参加のマトリックスを図示して資料配布
 - ・ 共有したい内容
- キセラせせらぎ公園のワークショップにゲスト出演した「各務原市」さんの取組。音あかり。事例をまとめてくる

3 閉会